

半世紀に及ぶ集落営農の取組が表彰されました！

～南横川ライスセンターが「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞～

山武農業事務所改良普及課 令和7年2月4日発

大網白里市で水稻経営を展開する集落営農組織農事組合法人南横川ライスセンターが、令和6年度全国優良経営体表彰の経営改善部門において、「全国担い手育成総合支援協議会会長賞」を受賞しました。このたび、「第26回全国農業担い手サミット in さが」の会場において表彰式が開催され、法人を代表して組合長に賞状が授与されました。

当法人は、組織の礎を築いた先人たちから現在の組合員に至る数多の人々が、たゆまぬ努力を続け、半世紀にわたり集落営農の先駆者として活動してこられました。この経営改善の取組や、地域農業への波及が認められ、受賞につながりました。

今後も、農業事務所では、地域農業をけん引する集落営農の活動を支援し、地域の発展を促進していきます。



賞状を受け取る組合長



組合長（中央左）と副組合長（中央右）